

離島振興計画の進捗状況〔牡鹿諸島地域振興計画〕

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況
交通・通信体系	<b>【離島航路】</b> ・浮桟橋や待合所等の周辺環境整備を推進	・離島航路利用者が安全に待ちやすい環境を確保できるよう努める。	・女川港に離島航路ターミナルを整備済み
	・地域の実情に即した運行体系の確立	・島民や観光客の生活を支える重要な基盤として、1日あたり15回運航した。	・令和6年12月19日に出島大橋が開通したことに伴い、令和7年3月31日から航路再編を実施した。
	・経営の効率化	・航路維持に係る経費等の削減に努めるよう、運航路事業者に指導を行った。	・離島航路改善計画を策定し、経営改善に努めている。
	・島民を対象とした旅客運賃割引の継続	・平成24年度から島民を対象とした旅客運賃割引を継続して行っている。	・継続している。
	・島民を対象とした自動車航送料の割引制度を導入	・令和5年度から島民を対象とした自動車航送料の割引を行っている。	・廃車に係る運搬費用は補助している。
	<b>【道路・網地島】</b> ・幹線道路の維持管理	・市道については、路面状況等に応じて修繕・草刈り等を実施。	(石巻市)
	・市民バスの維持及び運行体制の整備	・バス運行业者と連携し市民バスの運行を実施。	(石巻市)
	<b>【道路・出島】</b> ・県道出島線の整備	(女川町)	-
	・幹線道路の維持管理と快適な交通環境の確保	(女川町)	・町道女川出島線「出島大橋」が令和6年12月19日に開通。
	<b>【情報化の推進】</b> ・電気通信事業者による情報通信基盤の拡充及び情報通信サービスの高度化の促進	・電気通信事業者に対する働きかけを行い、実現に向け今後検討予定。また、令和7年度より衛星通信機器を設置した者等に機器の購入費用（設置費用を含む）に対する補助事業を実施予定。	・令和7年11月に出島内（出島大橋を渡ったところ）まで光回線敷設済み。順次住宅地などに敷設整備を行う。
	・ICTの活用を通じたデジタル化の推進	・電気通信事業者に対する働きかけを行い、実現に向け今後検討予定。	・現在ICTの活用を通じたデジタル化の推進はできていない。
	<b>【通信環境】</b> ・通常電話回線、携帯電話、衛星電話、衛星データ通信、防災広報無線、テレビ受信環境の維持及び環境整備	・電気通信事業者に対する働きかけを行い、実現に向け今後検討予定。また、令和7年度より衛星通信機器を設置した者等に機器の購入費用（設置費用を含む）に対する補助事業を実施予定。 ・防災行政無線（屋外拡声子局、個別受信機）により防災情報及び行政情報を放送。電子メールや電話、FAXにより、防災情報を受け取ることが可能。	・携帯電話が問題なく受信できるよう環境の維持を行っている。
	産業振興・就業	<b>【水産業】</b> ・関係機関との連携強化等の密漁防止対策	・密漁行為の防止のために、関係機関との連携を図り、安全で安心な漁場環境を維持している。
・漁場機能の向上及び良好な漁場環境の維持		・関係機関との連携により、漁場機能の向上と良好な漁場環境の維持に取り組んでいる。	
・海岸保全施設及び漁業施設と併せた周辺環境の整備		・長渡漁港の静穏度解析業務を実施した。	
<b>【担い手対策】</b> ・各種研修会等への積極的参加		・離島を含めた市内漁業者の担い手が参加できる各種研修会案を模索している。	・新養殖種導入に係る講習会等への呼びかけや養殖試験事業の展開等、積極的な情報提供に努めている。
・新しい漁業研究活動を奨励するなど、担い手の育成		・離島を含めた市内漁業者の担い手が漁労技術や知識を習得する研修等の活動に対し、支援できる体制を整えている。 ・離島（網地島、田代島）は農業振興地域に指定しておらず、産業となるための生産基盤等が整っていないことや輸送コストがかかるという地理的な制約があり、自家消費程度の生産となっている。	
<b>【第二次・第三次産業】</b> ・地域性のある特産品の開発を促進		・地域性のある特産品の開発に向けて、今後検討予定。 ・（一社）石巻圏観光推進機構において、田代島や金華山をテーマにしたツアーを企画し、実証ツアー等を実施している。 ・田代島のマンガアイランドを利活用し、宿泊や自転車等の利用者の受付に努めている。 ・日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の取組に「金華山詣」の文化及び「金華山道」が追加され、周知PRに努めるとともに、補助金交付により関連商品の開発を支援している。	・令和6年度より「創業等支援事業補助金」を展開し新規創業や二次創業を支援。 ・ブランド化について推進する商工会あて「商工業振興事業補助金」を支出（ブランド化相当充当額50万円程度）
・流通の合理化、共同出荷、ブランド化等を通じたコストダウンや高付加価値化		・流通の合理化、共同出荷、ブランド化等を通じたコストダウンや高付加価値化を図る案を模索中。	
・各種制度を活用したツーリズム関連産業（宿泊業、飲食店等）の集積	・通年で市のHP、市報等で石巻市創業支援補助金の活用について周知を行っている。		

離島振興計画の進捗状況〔社鹿諸島地域振興計画〕

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況
生活環境整備	【住環境・出島、江島】 ・より良い住環境整備	(女川町)	・町道の適切な維持管理に努めている。 ・町道女川出島線「出島大橋」が令和6年12月19日に開通。 ・江島については、住民の減少に伴い、空家や原野が目立ってきているが、これまでの害虫駆除を継続しながら、生活環境の維持向上を図っている。
	【上水道・出島、江島】 ・人口予測、水需要予測を行い、給水エリアを選定し浄水方式の選定、構造形式の選定	(女川町)	・女川町水道ビジョン及び女川町水道事業アセットマネジメント計画を策定済み。
	・基幹管路の耐震化の整備	(女川町)	・上記計画に基づき、順次更新予定。
	【上水道・網地島、田代島】 ・浄水施設の計画的な整備や付帯設備の改修	・施設の不具合・故障時に改修を行っている。	(石巻市)
	・海底送水管の漏水防止や適正な維持	・管路の不具合・故障時に改修を行っている。	(石巻市)
	【し尿・ごみの処理】 ・本土への搬送処理体制の効率化	・引き続き、効率的なし尿・ごみ処理体制の構築に向け検討を行い、ごみ減量化・再資源化を推進していく。	【し尿の処理】 ・出島は、架橋開通後、本土と同様の汲み取り体制・料金となる。 【ごみの処理】 ・本土への搬送処理体制について、出島は架橋開通後、本土と同様にごみ収集車での運搬を行っており、江島は、船舶での搬送を今後も継続して行う。 ・ごみの減量化・再資源化等について、町広報誌等による周知など、今後も継続して行う。
	・ごみの減量化・再資源化及び再利用の推進		
	【空き家対策】 ・適切な管理や改修等の促進	・空家等実態調査及び所有者意向調査をR5～R6年度の2か年で実施。 ・空き家無料相談会(年4回)及び管理・活用に關する相談対応を継続している。	・空き家改修に係る一部費用の補助等を実施している。
	・空き家バンクへの登録を推進	・空き家バンク登録を案内しているが、相続未済や片づけの問題があり登録物件なし。 ・固定資産税納税通知書に空き家の適切な管理や空き家バンクに係るチラシを同封している。	・継続している。
	【地域コミュニティ】 ・離島開発総合センター等を有効活用し、各種研修会、講習会等の開催を推進	・島民が気軽に集える場となるように、施設の有効活用に努める。	・人材育成に係る補助制度を町独自で行っている。
医療確保	・関係行政機関やへき地医療拠点病院等と連携した医療従事者の確保	・田代島では市診療所を開設、網地島では開設している民間医療機関への運営費補助を継続して行っている。	-
	・医療法人の運営に対する支援の継続		
	・訪問診療等のサービス及び遠隔医療を含めたICTを視野に入れた医療環境の整備を促進		・女川町地域医療センターが江島の集会所において、月1回巡回診療を実施している。 ・現在、ICTを視野に入れた医療環境の整備促進はできていない。
	【救急医療体制】 ・高速定期船等の地元船舶の対応を実施	・救急医療体制についても地元船舶での搬送等を継続して行っている。	・地元船舶により対応している。 ・救急患者が発生した場合、船舶を借上げ海上搬送を行う体制を整備している。
	・消防機関等本土側の関係機関との連携 ・防災ヘリコプター等を活用した搬送体制の環境整備		・非常時に備え衛星携帯電話を配備している。 ・ヘリポート場所確保済み。
高齢者等の福祉・介護サービス	【網地島】 ・ティサービスセンターと高齢者生活福祉センターの運営の指定管理者の指定継続	・施設の指定管理者と協議を行い、施設の管理運営の委託を継続している。	(石巻市)
	・同施設の環境整備推進	・同施設の環境整備については、指定管理者と協議を行い、計画的に修繕を行っている。	(石巻市)
	・石巻市離島介護対策事業の継続	・介護サービス事業者等に対し、介護サービス又は地域支援事業(はつらつ元気教室、実態調査)を実施した場合に補助金(上限5万円/月)の交付を継続する。	(石巻市)
	【田代島】 ・石巻市離島介護対策事業の継続	・介護サービス事業者等に対し、介護サービス又は地域支援事業(はつらつ元気教室、実態調査)を実施した場合に補助金(上限5万円/月)の交付を継続する。	(石巻市)
	・田代島開発総合センターのバリアフリー化推進	・高齢者が安心して施設を利用できるよう、バリアフリー化推進に努める。	(石巻市)
	・離島開発総合センター等を利用した生涯スポーツの定着	・施設を活用したスポーツ活動の実施に向けて、今後検討予定。	(石巻市)
	【出島、江島】 ・介護予防事業による健康づくりの推進	(女川町)	・ミニ体力測定結果及び健康講座を実施し、できるだけ長く自立した生活を送るための介護予防について普及啓発を行っている。
	・介護保険サービスより、介護予防を中心とした施策展開	(女川町)	
教育・文化	【学校教育】 ・学校・家庭・地域・行政の四者の緊密な連携による、本土への通学の利便性向上	・スクールボートを運航し、本土へ通学する児童の支援を継続している。	・通学する児童生徒がいる場合、スクールバスを検討する。
	【生涯学習】 ・離島開発総合センターや既存の社会教育施設の有効活用	・社会教育施設「島の楽校」について、網地島の魅力発信のため運営を継続していく。	・検討中(離島開発総合センター、既存の社会教育施設なし)
	【生涯学習・出島、江島】 ・社会教育施設に代わる代替施設の確保	(女川町)	・公共施設(地区集会所)を利用しての事業を検討中
	【文化振興】 ・自然や文化に触れ親しむ環境整備	・網地島の木造聖観音立像、田代島の仁斗貝塚が県の文化財として指定を受けていることから、今後もその保存に取り組む。	・地域住民や関係団体の協力により環境整備に努めた。
	・文化の保護と後継者育成		・補助金交付による後継者育成を支援している。 ・児童、生徒による伝承活動を推進している。

離島振興計画の進捗状況【社鹿諸島地域振興計画】

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況
観光の開発	・各種アウトドア型の体験プログラムの開発を促進	・（一社）石巻圏観光推進機構等において体験プログラムを含むツアーを企画し販売したが、定員を満たせず催行には至らなかった。	・観光協会にて、出島の自然を満喫するツアー造成を検討中である。住民生活への影響から大々的な促進は考えていない。
	・ブルーーツリズムを活用したコミュニティ・ビジネスの創出の検討	・田代島については、担い手不足や震災時の砂浜消失等の課題があり、ブルーーツリズムに係る体制構築には引き続き検討を要する。	・担い手がおらず、具体的な検討に至っていない。
	【網地島】		(石巻市)
	・網地白浜海水浴場について、公衆トイレ等の観光施設の整備及び維持管理	・市で網地白浜海水浴場に公衆トイレを整備し、海水浴期間中に開放し維持管理を実施。	(石巻市)
	・自然と共生し、景観と調和した観光地域づくりの推進		
	【田代島】		(石巻市)
	・マンガアイランドについては、更なる利便性の向上を図るため、指定管理者制度の導入の検討	・マンガアイランドの指定管理制度導入にあたり、条例改正や施設改修などの課題があり、施設の運営・管理の在り方について検討を重ねている。	(石巻市)
	・野外活動に配慮した食材の供給体制等の環境整備の検討	・野外活動の実施や食材の供給体制、他の離島との連携については、担い手不足の課題があり、引き続き検討を要する。	(石巻市)
	・本土や隣接する網地島の宿泊施設と連携した対応の検討		(石巻市)
	・多様な切り口から島内の観光資源の活用		(石巻市)
【出島、江島】			
・駐車場やトイレなど、施設整備の検討	(女川町)	・出島大橋開通に伴い、令和6年度に出島島内へ公衆トイレ及び誘導標識を整備した。トイレについては、島内2つの漁港（出島港、寺間港）それぞれに1か所ずつ整備した。誘導標識については、島内各所に40基の標識（道路標識タイプの誘導看板や岸壁へ掲示した釣りマナーの標識、移動可能な自立タイプの駐車規制看板等）を整備した。	
・既存の観光コンテンツの環境整備	(女川町)	・釣りやマリンスポーツで来島される方向けに「出島アクティビティマップ」を作成し、町内各施設にて配布している。また、観光協会の公式HPに掲載し、ダウンロードできるようにしている。	
国内外との交流	【網地島、田代島】		(石巻市)
	・離島開発総合センター等を活用しながら、自然環境や水産資源を生かしたツーリズムと、交流プログラムの開発を推進	・離島開発総合センター等を活用しながら、自然環境や水産資源を生かしたツーリズムの実施について検討していく。 ・島民の知識や経験を活かせる交流プログラムの開発について検討していく。	
	【網地島】		(石巻市)
	・各種事業の実施を通じて、島民と島外との交流の促進	・各種事業の実施を通じた交流はないが、島民と島外との交流が図られるように検討していく。	
	【田代島】		(石巻市)
	・マンガアイランドを拠点施設と位置付け、野外活動に配慮した食材の供給体制等の環境整備の検討	・マンガアイランドにおいては採算性や保管の課題もあり、食材の供給体制構築には引き続き検討を要する。	
	・国内外からの取材・撮影等を活用した、観光客誘致や交流人口拡大	・国内外で様々なメディアに田代島が取り上げられたことから、邦人・外国人問わず観光客が訪れ、令和6年は観光客入込数が前年から約7,300人増となっている。また、マンガアイランドのリピーター等が複数回島外から訪れており、交流人口も拡大している。	(石巻市)
	【出島、江島】		
	・島の魅力の発信や更なる交流人口の増加	(女川町)	・振興協議会の立上げ検討など、交流人口増加策等について、協議を行っている。 ・人材育成補助金等による支援を行っている。
	・受入協力の中心となる人材や団体等の育成	(女川町)	・デジタル防災広報無線を整備している。 ・令和5年度に備蓄食料品を更新済み。 ・出島、江島にヘリポート場所を確保済み。 ・ヘリポート、船舶避難ができる。 ・防災ヘリ及び船舶での島外避難ができる体制を構築済み。 ・消防格納庫、消防車両を配備している。 ・継続的に女性団員や青年層を消防活動へ参画するよう努めていく。
自然環境・エネルギー対策・防災	・海岸保全施設等の整備の推進	・防災行政無線の屋外拡声子局については、保守業務により放送品質の維持に努めている。防災行政無線戸別受信機については、不具合が発生した都度、住民からの依頼により調整あるいは機器の交換を行っている。	・海岸保全施設整備の要望なし。 ・漁港施設の適切な維持管理に努めている。
	・必要に応じた急傾斜地崩壊対策事業の実施	・災害用備蓄品の管理については、田代島開発総合センター、網地島開発総合センターに食糧・水等の災害用備蓄品を配備しており、次回は、令和9年度に新たな備蓄品を整備する予定としている。	・急傾斜地崩壊対策事業については、今現在不要。 ・町道の適切な維持管理に努めている。
	【防災・減災対策等】		
	・防災行政無線の維持及び機能向上	・防災ヘリポートの維持管理については、草刈り等を定期的に実施しており、航空自衛隊松島基地等の機関が定期的に訓練で利用している。	
	・災害用備蓄品の管理と計画的な更新	・防災ヘリポート及び船着場を整備しており、空路や船舶による避難が可能。	
	・防災ヘリポートの維持・管理、利活用		
	・島民が島外へ避難できる環境整備の検討		
	【消防防災体制】		
	・消防施設や消防車両の更新整備		
	・広域消防等と連携を密にし、女性や青年層の消防団活動への参加や火災予防業務等の積極的な推進		
【自然環境】			
・自然環境調査の継続実施	・自然環境や希少な植物の植生等についてを正確に把握するため、毎年、離島を含む市内全域から調査地域を設定し、自然環境確認調査を実施しており、今後も継続的に実施する。	・海域水質等調査を継続。	
・生態系や山林、海の保護・保全の活動の推進			
【再生可能エネルギーの導入】			
・各種補助制度の活用による島内普及	・再生可能エネルギーの利用を促進することにより、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に資することを目的に、太陽光発電システム、定置用蓄電池（蓄電システム）、エネルギー管理システム（HEMS）を設置した方に対し、補助金を交付する。	・太陽光発電システム設置補助事業について、今後も広報紙、ホームページで周知を図り、普及に繋げていく。	
【網地島、田代島】			
・プロパンガスの輸送に対する支援	・令和3年度からプロパンガス運搬に要する輸送費の補助金を交付している。	(石巻市)	

離島振興計画の進捗状況〔牡鹿諸島地域振興計画〕

	施策の内容	石巻市進捗状況	女川町進捗状況
人材確保・育成	・大学や各種団体、地域おこし協力隊の活用、県内の他の離島との連携 ・島にゆかりのある人を中心とした受入・支援 ・ICTを利用した情報発信	・令和5年8月から網地島に地域おこし協力隊員を1名配置し、島民の交流促進やSNS等を活用した島の魅力発信等を行っている。	-
	【出島、江島】	(女川町)	-
	・ボランティア等との繋がりや宮城県離島振興協議会事業を活用した勉強会や各種事業の継続 ・島内住民と島外避難者との心を繋ぐ活動や交流人口増加策の検討	(女川町)	・宮城県離島振興協議会事業を活用したアイランダー等の参加を継続している。
	・人材や団体等の育成による交流人口の増加や定住促進	(女川町)	・人材育成補助金等による支援を行っている。
感染症発生時等の配慮	・感染拡大防止策や医療体制の整備強化	・感染症発生時についても、島内の市診療所等にて必要な医療を提供できる体制を今後も継続して確保していく。	令和7年3月に改定された宮城県新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえ、備蓄状況等の定期的な確認や、感染症患者が発生した場合の搬送体制を検討していく。
	・必要な医療提供体制等の確保		
小規模離島への配慮	・島民が日常生活を営むために必要な環境維持等への十分な配慮	・プロパンガス運搬に要する運搬費の補助など、島民が安定した日常生活を営むための環境維持に引き続き努める。	・日常生活に支障がないよう、離島航路はじめ、維持に努める。